



▲ゲームを楽しむ新入学生と婦人会会員

子どもたちに食の大切さを伝えたい 4/20 倉岳

～新入学おめでとう会～

棚底地域婦人会と倉岳食生活改善推進員協議会が、子どもたちに食の大切さを伝えようと4月20日、今年、倉岳小学校に入学した児童とその保護者を対象に「新入学おめでとう会」を開催しました。この会では、同推進員の馬田純子さんが「朝ごはんを食べることの大切さ」などについて話された後、ジャンケンゲームなどで親子のふれあいや世代間の交流を深めました。また、同推進員が用意した昼食をみんなで食べ、子どもたちの入学を祝いました。



▲勇壮な太鼓踊りを奉納

五穀豊穡を祈願し、虫を追い払う 4/20 新和

～虫追い祭り～

早期米の田植えを終えた水田などで五穀豊穡を祈願する「虫追い祭り」が、新和町の各地区で行われました。これは、田畑を踊り歩き、山手から海手へ向かって病虫害を追い払う祭りで、300年以上の伝統があります。

4月20日、小宮地・大多尾・中田地区では神事が行われた後、小学生や地域住民などが鐘や太鼓、笛、法螺貝などの音を響かせ、水田に御幣を立てながら、地区内をにぎやかに踊り歩きました。



▲機械でていねいに1番茶の収穫が行われました

丹精込めて育てた茶葉を収穫 4/21 栖本

～“茶摘み”の最盛期～

天草の春の風物詩“茶摘み”が、4月下旬から5月中旬にかけて行われました。栖本町では自家製のお茶を楽しむ家庭が多く、至るところでお茶が栽培されています。

同町湯船原の猪原幹雄さんが所有する約80アールの茶畑では「やぶきた（茶種＝釜炒り製玉緑茶）」を栽培。4月21日には、全国茶品評会への出品用として栽培された茶葉の摘み取り作業が行われ、丹精込めて育てた茶葉の出来具合を確かめながら、ていねいに摘み取っていました。



▲100万人目となり大喜びの大塚洋子さん(写真左)と夫の勝さん(同右)

開業9年目で利用者100万人突破 4/29 有明

～有明温泉センター「さざ波の湯」～

有明温泉センター「さざ波の湯」の利用者が4月29日、開業9年目で100万人を突破しました。この記念すべき100万人目となったのは大阪府貝塚市に住む大塚洋子さん(60歳)。㈱リップルランドから天草の特産品や2万円分の旅行券などが贈られました。夫の勝さんと車で鹿児島県へお墓参りに行く途中だったという洋子さんは、「眺めが良さそうだったので、たまたま立ち寄りしました。信じられません」と驚きながらも笑顔で話していました。



Treasure Island Topics 宝島の話



▲国指定重要文化財の祇園橋で、案内人の説明を受ける参加者(写真は5月3日に開催された「天草宝島“お宝”探検隊」)

まちを巡り、本渡の魅力堪能！ 4/6～5/6 本渡

～天草宝島“お宝”探検隊・本渡まち歩き～

本渡地区の史跡などを巡る「天草宝島“お宝”探検隊」(社天草宝島観光協会主催)が4月6日から5月6日までの日曜日と祝日、天草宝島国際交流会館ポルトを発着点に行われました。4月29日には、熊本市などから約10人が参加し、約3kmのコースを2時間かけて散策。天草宝島案内人の会・石田道寛さんに祇園橋や殉教戦千人塚などについての説明を受けたり、コース途中のお店で地元のお菓子を試食したりしながら、本渡の魅力を堪能していました。



▲元気な取組で会場を沸かせる園児たち

航行の安全と子どもの成長を願って！ 4/15 御所浦

～金比羅祭り～

4月15日、「金比羅祭り」が御所浦町の嵐口地区で行われ、地元の漁師や保育園児など住民約200人が参加しました。この祭りは、同地区に古くから伝わるもので、毎年旧暦の3月10日に行われています。晴天に恵まれた当日は、1年間の航行の安全を祈願した後、子どもの健やかな成長を願って、赤ちゃんの土俵入りなどを実施。保育園児による奉納相撲では、子どもたちのかわいい元気な取組に、見守る観客から大きな歓声や拍手が送られていました。



▲牛深ハイヤ祭りの日が晴れますように！

あ～した、天気になぁ～れ！ 4/15 牛深

～てるてる坊主の飾り付け～

4月15日、茂串保育園の園児が牛深ハイヤ大橋横・芝生広場の樹木に「てるてる坊主」を飾り付けました。このてるてる坊主は、天草の春の一大イベントである“牛深ハイヤ祭り”が毎年雨に見舞われていたため、今年は晴天になるようにと園児たちが願いを込めて作ったもので、中には園児と同じぐらいの大きさの巨大なてるてる坊主も。園児たちの願いが通じ、今年の牛深ハイヤ祭りは3日間とも晴天に恵まれ、大勢の観光客などで大盛況となりました。